



次回以降の取組

Step1／グループ分け

- ▷課題の掘り下げ（→共有）、アイデア出し（→共有）の迅速化&横展開を図るため、**三つのグループ**に分ける！
- ▷次回以降、各グループで①**課題研究**（1つのテーマ）、②**自由研究**（1～2つのテーマ）に分けて、アイデア出し
- ▷ざっくりとしたイメージでは…
 - ・①**課題研究**＝今年度（年明け）のデジ田交付金の申請に手上げが**マスト**！
 - ・②**自由研究**＝今年度（年明け）のデジ田交付金の申請に手上げするもの、次年度の申請に手上げするものに区分して、研究
- ▷毎回、PT会議の最後には、各グループでのディスカッションした内容を共有

昨年度からの行政経営推進会議や事務事業の見直しにおいて、“**書かない窓口**”導入検討の必要性が提言
→①**課題研究**テーマを“**書かない窓口**”に設定！
→“**書かない窓口**”のその先には“**行かない役所(窓口)**”もあり
…そもそも家で、商業施設で、行政手続きを済ませるのは時代の要請で、すでに実現に向けたツール(スマホ)もそれぞれの手に行き渡っている！

Step2／“大船渡の課題”を3つまで考え、slackに入力！



▷“大船渡の課題”として自分が捉えていることを3つまで考え、9/26(月)までにslackに入力！

- ・ slack> #dxプロジェクトチームのチャンネルに、スレッドを立てるので、そこに「返信」～入力！
- ・ ここには、事務局も含めた全員が入力！

▷～9/26(月)：希望するグループを入力



9/28(水)頃：事務局からグループ分けの結果を通知



磯崎アドバイザーがslack #dx他地域の取り組みに投稿している他市町村事例を読み込み、大船渡の課題と照らし合わせながら、次回以降の会議で臨む～それぞれがスキルアップ！



Step3／次回会議までに他市町村事例を読み込み！



デジタル田園都市国家構想

DIGIDEN

▷slack> #dx他地域の取り組みに、磯崎アドバイザーが他市町村のデジタル活用事例を随時投稿



▷これを読み込み、必要があれば、その事業を深掘りして調べるなどして各回のPT会議に参加



▷大船渡の課題と照らし合わせながら、次回以降の会議でアイデアを共有



▷より中身の濃いPTのディスカッションに結び付け！



■PT会議のテーマ

▶年内は、次のとおり開催予定で、年明けは改めて日程を調整！

▶今年度、①デジ田交付金の申請まで結び付ける案件と、②次年度に申請まで結び付ける案件に切り分け、取組を推進

日時等	内容等	日時等	内容等
第1回 9/20(火) 14:00～ @地階大会 議室	・市長訓示 ・プロジェクト・チームのねらいと役割等、デジタル田園都市国家構想 ・他市町村の先進事例等 ▶各回、アドバイザーによる助言	第5回 ※調整中	・磯崎アドバイザーによる「レゴシリアスプレイ」の研修・ワークショップ
第2回 10/14(金) 9:30～ @議員控室	・グループワークにより、俯瞰的に当市の課題を抽出 ・そのための解決のアイデア出し ・①そもそも課題となっているか、②課題解決が市民の Well-being につながるか、③ Sustainability につながるかといった視点から振り返り	第6回 12/2(金) 9:30～ @議員控室	・おおふなと版デジ田交付金活用モデルの整理 →今年度申請に向けてのラストスパート ・先進事例を“深める” →当市での実現可能性の検討、次年度申請に向けての課題整理等
第3回 11/2(水) 9:30～ @議員控室	・必要に応じて、担当課職員にも同席してもらい、当市の課題を深掘り ・解決のためのアイデアのブラッシュアップ ・同様の先進事例を“学ぶ”“深める”	第7回 12/20(火) 9:30～ @地階大会 議室	・おおふなと版デジ田交付金活用モデルの整理 →今年度申請に向けてのラストスパート ・先進事例を“深める” →当市での実現可能性の検討、次年度申請に向けての課題整理等
第4回 ※調整中	・担当課職員にも同席してもらい、アイデアの更なるブラッシュアップ ・同様の先進事例を“深める”→①課題解決が市民の Well-being につながるか、② Sustainability につながるかの視点で振り返り ・おおふなと版デジ田交付金活用モデルの導入検討		



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

／では次回、第2回PT会議で／

▷10/14(金)9:30～@議員控室です！

▷内容は…

- ・グループワークにより、俯瞰的に**当市の課題を抽出**
- ・そのための**解決のアイデア出し**
- ・①そもそも課題となっているか、②課題解決が市民の**Well-being**につながるか、③**Sustainability**につながるかーといった視点から振り返り

…です！

- ・限られた時間を有効に使い倒すため、事前に配布予定の資料や、磯崎アドバイザーからSlack内で発信される他市町村のデジタル活用事例を読み込み〔**知る**〕、課題解決のためのアイデアを練り〔**考える**〕、そして会議に臨むようにお願いします！！！！

→事務局からはできるだけ要点を絞った、有用な資料提供を行いますので、引き続き皆さんの力を貸してください！！！！！！

